

## 第5回 松戸駅周辺まちづくり委員会議事録（概要版）

日 時 平成27年9月10日（木）10時～12時

場 所 松戸市役所 新館5階 市民サロン

出席委員 委員11名（別紙委員名簿のとおり）

欠席委員 太下委員、山崎委員、横井委員、秋山委員、桑原委員

事務局 街づくり部審議監 街づくり課長 街づくり課専門監  
他11名

傍聴者 6名

### 次 第

1. 松戸駅周辺まちづくり基本構想について
2. 平成27年度事業内容について
3. その他

### 配布資料

1. 次第
2. 松戸駅周辺まちづくり基本構想
3. 松戸駅周辺地区まちづくり整備基本計画検討業務
4. 松戸駅周辺まちづくり委員会条例
5. 委員名簿
6. 部会名簿（案）

## 事務局説明

### 【松戸駅周辺まちづくり基本構想について】

- ・第4回委員会にて答申を受けた案のとおり、松戸駅周辺まちづくり基本構想を正式に策定した旨を報告。
- ・基本構想に基づく取り組みの具体化について、引き続き委員会で審議を行っていただきたい。次回の委員会において改めて諮問させていただく。

### 【平成27年度事業内容について】

- ・今年度は、必要性・緊急性等の観点から優先すべき個別具体の事業に係る計画の作成に着手し、基本構想での様々な取り組みの効果的な実施手順もあわせて検討する。「松戸駅周辺地区まちづくり整備基本計画検討業務委託」として、株式会社日建設計に委託した。
- ・検討業務の内容について、配布資料を基に説明。
- ・矢切地区の整備については、農地の集約など有効活用も含めて、地元地権者の意向も踏まえつつ検討する。

## 審議内容（各委員からの意見）

### 【平成27年度事業内容について】

- ・検討業務の内容が5つに分かれているのは、市の発注条件か、事業者の提案か。

⇒【事務局】市の発注条件となる。

- ・新拠点ゾーンの多機能拠点とは具体的にどのような施設を考えているのか。できれば子育て支援の施設も整備して欲しい。

⇒【事務局】今後検討を行い、逐次報告させていただく。

- ・松戸中央公園の一部移転の際、広場的な機能はどのような形で整備・移転されるのか。

⇒【事務局】こちらも今後の検討となるが、公園の再配置をする中で、今よりも使いやすい公園としたい。

⇒多機能的に、日常活用ができる空間としての整備をぜひお願いしたい。

- ・説明の中で松戸駅改良の話が出てこないが、JRとこれからどう話していくのか。

⇒【事務局】現時点でのJRとの協議経過では、工事の期分けを行い、駅舎のバリアフリーと耐震関係を来年の秋口から先行して実施したい、平行して駅ビルについて設計の見直しを進めたいと報告を受けている。

- ・以下の項目について要望したい。
    - シンボル軸の電線地中化、歩道・街路樹・街路灯の整備。
    - 江戸川、ふれあい松戸川の整備。
    - 西口デッキのエスカレーター整備。
    - 水陸両用バスを用いた観光ルート整備。
    - 西口の交通体系見直し及び、伊勢丹通りの歩行者天国の社会実験。
    - 西口公園付近及び、NTT、旧商工会議所、市立図書館付近の再開発の促進。
  
  - ・相模台の開発について、100年先まで考えてまちづくりを行い、東口の基盤にしたい。
    - 交通についても相模台から各方面に放射状に整備したい。
  - ・東口バスターミナルの上に福祉等をできるようなビルを作りたい。
  - ・東口と西口を結ぶ、人が行き交うくらいのトンネルが欲しい。
  
  - ・坂川の親水公園が最初に具体化されるようであるが、地元組織に持ち帰って検討できるよう、早めに情報をいただきたくお願いしたい。
  - ・矢切地区について、どれくらいの広さか分からないので現地見学会等を開催して欲しい。
    - また、矢切地区の方は検討に入っていないか。
- ⇒【事務局】これから具体的な検討を進めるにあたり、地元とは協議させていただきたい。矢切地区は、相模台で計画しているエリアの約3倍とイメージしていただければ。もちろん、現地を見て判断していただけるようにしたい。
- 矢切地区の地権者約70名に対しては、説明会を行っている。その中で意見を伺い、その内容について委員会で審議をいただく形を考えている。要望があれば、地元の代表を委員会にお呼びして協議に加わっていただくことも可能。
- ・矢切の渡しが営業しない日を、水陸両用バス等で補完できると良い。
  - ・野菊の墓に関する記念碑等が、矢切の渡しから離れた所にしかないので、矢切観光拠点の整備ではそういった文化・文学も含めてほしい。
  - ・江戸川沿いでウォーキングを行う方向けに、一定間隔でトイレやカフェ、レストラン等を整備すれば利用が増えるのでは。
  - ・坂川の親水公園の周辺も、カフェやイベントスペースがあると良い。伊勢丹通りで歩行者天国を行ってもイベントをする場所がないので、親水公園まで動線を作るとよいのでは。
  - ・水・緑と文化・文学を結びつけていただきたい。
- ・水、緑、歴史の歩行者ネットワークの形成という中に、いろいろな形での計画を少しずつ取り込んですべてを網羅していくというのが、基本構想に合っているのでは。

- ・親水公園にしろ、矢切にしろ、せっかく作るのであればほかの文化なども網羅し、松戸にいいところがあると内外に示して活性化につなげたい。
- ・商業・業務ゾーンについてもなるべく早く優先順位の中に入ってくるようにして欲しい。
- ・検討業務の内容について、それぞれのプロジェクトが結びついて駅周辺を変えていくといったポリシーが抜け落ちている印象を受けた。もともとは相模台地区の開発がメインにあつての委員会だと思うが、そこだけで終わらず中心市街地全体が良くなるにはどうすれば、というのがテーマだと思う。
- ・ネットワークの話は以前から出ているが、歩行者が風光明媚なところを歩くという捉え方だけでなく、中心市街地そのものの回遊性、一体性を常に考えないとならない。
- ・松戸の真ん中が良くなると、松戸が変わったという感じがしないのでは。公園整備なども良いが、真ん中のことを後回しにしないで、出来ることは小さいことでも議論していけると良い。
- ・相模台にインターハイのできるような、非常時には避難場所になるような体育館が作れると良い。そこに図書館やプラネタリウムもできれば。
- ・松戸駅周辺のまちづくりで、今考えるべき範囲がはっきりしない。駅の改造と同時に松戸を魅力あるまちにしていくことがまず先にあるべき。矢切や相模台など、周りを広げていくのは二次的なことだと思うので、最初にやるべきことの範囲を絞こまないとまらないのでは。
- ・松戸市が良くなるためには、全体のかさ上げより、ある部分を徹底的にシンボルとして大きくすることが必要。
- ・松戸のランドマークという表記があるが、ランドマークという以上は比較となるので、千葉県一、東葛一となるような高層建築物という表現をして欲しい。
- ・矢切の温泉施設についても、観光という観点でやるなら全国一とはいかずとも、千葉県一というくらいのもので作らないとならない。
- ・全体イメージの図を見て、目指そうとしている中心市街地活性化のイメージが湧いてこない。
- ・東口の山と西口の川に囲まれた松戸駅周辺、というような的確なイメージを出す必要があると思うので、空間的な分析をやっていただきたい。どういうデザインのポリシーかという部分が欠けているように感じるので、パースなど具体的な空間イメージを描いていただきたい。

- ・内容を①から⑤に分けたことによって、問題を総合的にとらえることが出来なくなっている気がする。
- ・坂川に関しては先行して整備を行うようだが、誰がどのように絵を描くのか、そこで市民の参加や関係者とのワークショップといったことが必要になってくると思う。
- ・新拠点ゾーンに関して、どういう施設が出来るかというだけではなく、現市庁舎の跡地を含めてどのような事業スキームを組むかが期待されている。
- ・中心市街地について、交通体系の話に押し込めてしまっており、賑わいや既存の店舗・商圈との連携といったところ書かれていないので、修正しながら進めて欲しい。

### **部会の設置について**

- ・検討内容が多岐にわたるため、新拠点、東西口の交通体系、街中の開発誘導手法などを検討する「都市部会」と、矢切観光拠点、江戸川、坂川親水拠点、戸定フォーラム用地などを検討する「水・緑部会」の2つを設置する。

### **連絡事項等**

- ・次回委員会は11月開催を目処に調整する。
- ・今年度は先進地への視察を予定している。視察先や日程は検討中。

議事録署名委員 長江 曜子 委員  
大塚 清一 委員